

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1396
施設名	柴崎にじのいろ保育園
施設所在地	立川市柴崎町1-16-23
法人名	社会福祉法人 若水会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「水」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園の近くが自然豊かで、公園だけでなく、川も多摩川、根川、残堀側と様々な川が身近にある。川がある公園では水の流れや、色、生き物を探索する姿がある。

2. 活動スケジュール

令和7年9月～

- ・水あそびを楽しむなかで、水の流れや動きに関心をもつ
- ・水とは何かを問いかける
- ・川の氷の発見や、色水の変化を楽しみながら水の動きに興味を持つ
- ・三つの川の水を採取し、濾過し綺麗な水の変化を楽しむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・水のカ⇒樋 (トイ)
- ・水の色の変化⇒アルミカップ、キッチンペーパー、食紅、入浴剤、
- ・水の濾過⇒ペットボトル、炭、脱脂綿、小石、川の水 (多摩川、根川、水道)
- ・活動の記録のための道具：カメラ、ノートパソコン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

「水」とはどんな所にあるか子どもたちに問いかける。自分の生活に欠かせない「お水」や、公園先にある「川」「水道」など様々な場所で「水」と関わりがある事が分かる。自分達の地域には川がある事その水は飲めないことを伝え、一人の子が「その水を、ペットボトルに入れて、石を入れたりするとキレイになるんだよ」と声がある。より他の子にも水の性質に興味を持ってもらう為に実験や、探索をしていった。

水の動き⇒トイを使用し、コンテナで高さを作り自分達で水を流しながら浮かんでいる物が動き始める

色水⇒三つアルミカップを使用し二つのアルミカップに違う色水を入れてキッチンペーパーに染みこみ真ん中に移動し色が混ざり合う

水の濾過⇒地域の川を巡り、ペットボトルに水をくむ。違うペットボトルに小石、脱脂綿、炭を入れて汚れを取りキレイな水になる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

グループで色水を作るときにもどの色を使用するか子どもたちに決めながら、「真ん中のコップに色が動いてる!」「何色になるんだろう」と、水が移動する場面を一緒に観察していた。次の日には色が混ざりあっているとグループ同士で会話をする姿があった。濾過装置では、本当に水がこれで綺麗になるのか半信半疑だったが、川の水を装置に入れるとゆっくりとキレイな水が流れてくるのを見て「なんで色が変わるんだ?」と、みんな驚いていた。大人は子どもの言葉を引き出し、グループや友達と会話する機会を作った。



水の力で浮いてるものが動いた



水の色が移動した



色が混ざって違う色になった



川の色はどんな色?



ろ過すると透明になった。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

単色だけではなく、色が混ざり合って違う色に変わることが間近に見られたことで探究心が高まり、自由遊びの時にも絵の具の色を混ぜたり他のグループの色の変化に興味を示したり、友達に混ぜたらどんな色になるのか会話が増えていた。川は普段の散歩ルートで見かけたり探索することがなかったが今回、水を採取したことで透明ではないこと、自分達が思っていた色と違うことに驚き興味がよりわいていた。どの活動にも意欲的に参加できたのも普段身近にある川や、色、遊具を使用したことでより関心が高いことを感じた。